

トピックス



大阪府北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

令和元年度 重点取組事項について

近畿中国森林管理局

【企画調整課】

2019年5月1日天皇陛下の御即位に伴い、新しく元号が『令和』となりました。

国全体が大きな節目を迎えた時期に、森林・林業政策も大きな節目を迎え4月1日より「森林経営管理制度」がスタートし、「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」も施行され、財源とセットで森林が整備されることとなりました。

このような中、近畿中国森林管理局としても民有林への技術的な情報提供などの支援に取り組むほか、「公益重視の管理経営の一層の推進」、「林業の成長産業化に向けた貢献」、「国民の森林としての管理経営」に向けて、国有林が持つ**組織・技術力・資源を活かし、民有林関係者とも連携**を図りつつ、木材の安定供給、路網の整備、林業の低コスト化等に向けた各般の取組を積極的に進めていくため、令和元年度の重点取組事項を公表しましたのでご紹介します。

I 公益重視の管理経営の一層の推進！

○多様で健全な森林づくりの推進

森林資源の循環利用を図りつつ、国土の保全、水源の涵養、生物多様性の保全、二酸化炭素の吸収等、公益的機能の一層の発揮に向け、立地や地域の実情に応じた**多様な森林への誘導**に取り組めます。

「国民の森林」としての管理経営を一層推進するため、現地視察会や地域懇談会の開催等を通じて、**地域に根ざした森林計画づくり**に取り組めます。

野生生物の生育・生息地となる**天然生林**を適切に保全するとともに、自然・社会的条件に応じて**人工林**を複層林や針広混交林へ**誘導**することにより、多様な森林づくりに取り組めます。



○シカ被害対策

近畿中国地方では、ニホンジカの個体数の増加と分布域の拡大が著しくなっており、管内の国有林においても苗木の食害や下層植生の衰退等が発生し、一部で被害が深刻化しています。

このような被害を防止するため、**地域と一体となって、シカ捕獲対策、新植箇所等の保護、生息状況調査**などに取り組みます。



下草を食害し地表が剥き出しの状態



囲い罠による捕獲



立木を活用した防護柵



シカに GPS 発信器を取り付け
生息状況を調査



←「シカ被害対策技術交流会」
関係機関と連携して、捕獲技術等の効率的・効果的なシカ被害対策に取り組みます。

小林式誘引捕獲法の実証・普及、→
効率的な捕獲方法を研修会等で提案します。



○治山・災害復旧対策の推進

・治山事業の推進

近年、集中豪雨等やそれに伴う山地災害が増加傾向にあります。近畿中国森林管理局管内でも平成30年7月豪雨災害等により崩壊、土石流などの山地災害が発生し人家・公共施設等の保全対象に甚大な被害がもたらされています。

令和元年度は、地域の復旧・復興に向け**被災山地の早期の復旧整備を**図るとともに、自然災害に対する山地防災力の強化に向け、**山地災害危険地区対策や保安林の水土保全機能の強化等**に取り組みます。



平成30年7月豪雨災害による山地災害の早期復旧に向けて、広島県東広島市において民有林直轄治山事業※に着手します。

※国が直接行う大規模な荒廃地の復旧や地すべりの防止対策

民有林直轄治山事業実施箇所 東広島市黒瀬地区 (左)、同市高屋地区

・森林災害の復旧 風倒木被害地の再生

平成30年9月の台風21号により、近畿地方を中心に多数の風倒木被害が発生しました。京都市の貴船山及び鞍馬山国有林においては被害箇所と人家・道路等が近接するとともに観光名所であることから、自然災害に強く地域の景観を構成する森林の再生が求められています。風倒木の処理を進めるとともに、有識者や地域の方々の意見を踏まえながら、**森林再生計画を作成し、実行していくこと**としています。



【風倒木被害箇所】
京都市左京区 貴船山国有林

○生物多様性の保全

原生的な森林生態系や希少な自然環境の維持、野生生物の生育・生息の場となっている**生物多様性保全の核となる森林を「保護林」**として設定し、**厳格な保護・管理**に努めています。

管内では、平成31年4月1日現在、80箇所 21,418haの森林を保護林として設定し、モニタリングにより森林の状態を把握しながら、野生生物の生育・生息に適した環境の保全・改善に取り組めます。



白山森林生態系保護地域
(石川県白山市)

Ⅱ 林業の成長産業化に向けた貢献！

○林業の成長産業化に向けた民有林への支援

・森林・林業関連教育機関との連携

意欲と能力のある林業経営者等の育成や林業従事者の確保が必要とされる中、管内では9府県で林業大学校等の森林・林業関連教育機関が開設、または開設が検討されています。国有林としても、講師派遣や現地実習のフィールド提供により、**担い手の育成**に協力していきます。また、今年度からは、教育内容の充実に資するため、**国有林と林業大学校等との意見・情報交換会を開催し、連携を強化**します。

【管内の林業大学校等の教育機関】

- ・ふくい林業カレッジ
- ・みえ森林・林業アカデミー
- ・(仮称)フォレストアカデミー(滋賀県)
- ・京都府立林業大学校
- ・兵庫県立森林大学校
- ・(仮称)奈良県フォレスト・アカデミー
- ・和歌山県農林大学校
- ・島根県農林大学校
- ・にちなん中国山地林業アカデミー(鳥取県)

・建築物の木造化・木質化など木材利用の推進

中大規模や非住宅の建築物の木造・木質化による木材利用の推進を目的としたフォーラム等の支援を通じ、木材関係者と建築や不動産関係者等との連携の推進に取り組めます。

大阪北部地震を契機として、コンクリートブロック塀から、**国産材の木製フェンスへの改修**を進めています。



加計森林事務所を木製フェンスに改修しました
(広島森林管理署)

○民有林と連携した森林整備等の推進

施業の集約化・低コスト化を進めるため、隣接する民有林と「森林共同施業団地」を設定し、**連携した路網の整備や相互利用、木材の協調出荷**等に向けた取組を推進します。

平成31年4月1日現在で31箇所 25,778haの森林共同施業団地を設定しています。

○フォレスター活動の推進

国有林では、森林総合監理士（フォレスター）等を育成し、民有林支援に取り組んでいます。

平成31年4月からは、「森林経営管理制度」が導入され、低コスト施業の普及など、府県と連携して**市町村の森林・林業行政等に対する技術支援**に取り組めます。



簡易舗装材利用の路網作設検討会の様子
三重県いなべ市 悟入谷国有林

多様化する林業の課題、地域ニーズに応じた「現地検討会」を開催し、**国有林が持つ技術の普及・定着**に取り組めます。

○林業の低コスト化の推進

成熟した森林資源を循環利用して、林業の成長産業化を実現していくことが喫緊の課題となっています。そのためには、**林業の低コスト化を推進**することが重要であり、①素材生産と造林の一貫作業、②コンテナ苗の使用、③植栽本数の削減、④獣害防護柵設置コストの低減、⑤下刈の省力化の推進、⑥列状間伐の推進、⑦丈夫で効果的な路網整備等に取り組めます。これらの成果については、国有林のフィールドを活用しながら、地域への普及に努めます。



○林産物の安定的な供給と林業事業体等の育成・強化

地域における木材供給体制の構築等を図るため、国有林の森林整備の結果発生した間伐材等（丸太）の**持続的かつ計画的な供給**に努め、地域の林業・木材産業の成長産業化に貢献していきます。また、林業事業体（造林・生産）の育成・強化を図るため、生産性の向上の取組の支援、事業体との情報・意見交換会の開催等に取り組み、**意欲と能力のある林業経営者等を支援**します。

・国有林材の供給

国有林から製材工場、原木市場、合板工場、チップ工場等への木材の供給は以下の方法により供給します。

【システム販売】

合板用、バイオマス発電用、輸出目的など需要の拡大が必要な一般材及び原料用材等の計画的・安定的な供給を図るため、あらかじめ協定を締結した製材工場・原木市場需要者へ直送します。令和元年度は74千m³計画

【委託販売】

あらかじめ協定を締結した原木市場を通じてセリ等により素材を販売します。令和元年度は36千m³計画

・複数年にわたる事業発注の推進

一定のまとまりのある規模の間伐等の森林整備を、民間事業者の企画提案によって効率的に行うため、**複数年**（2～3年）にわたる**単位で発注**します。こうした取組により、**事業量の平準化**や**雇用の安定化**に貢献します。



森林整備（間伐）の様子

○技術開発と普及

早生樹（センダン、コウヨウザン等）の成長に優れた苗木の活用等による**低コスト造林技術**やICT（情報通信技術）等の**先端技術**を活用した効率的な森林管理・木材生産手法の開発・の普及を念頭に置き、実証に取り組みます。

これらの開発、改良された林業技術や各種試験地で得られた成果については、森林・林業交流研究発表会や林業の低コスト化に向けた情報交換会及び現地検討会を通じて、地域林業関係者への普及・定着を図ります。



Ⅲ 国民の森林としての管理経営！

○日本美しい森 お薦め国有林

「レクリエーションの森※ 1」を観光資源として魅力を引き立て、多様なコンテンツを提供するため、「日本美しい森 お薦め国有林」(管内 20 箇所を選定)において、**修景伐採※ 2**や**施設整備**、**多言語看板の設置**、**HPによる情報発信**など重点的な取組を実施します。

※ 1 優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林を「レクリエーションの森」に設定し、広く国民の皆様提供しています。

※ 2 展望台などからの眺望・見通しを確保するための伐採



英語表記の看板を設置
(近江湖南アルプス自然休養林) 滋賀森林管理署

○森林環境教育の推進

ESD ※の視点を踏まえ、持続可能な社会の構築に果たす森林・林業の役割や木材利用の意義に対する**国民の理解と関心を高める**取組を推進します。

※ ESDとは、「Education for Sustainable Development」の略で、「持続可能な開発のための教育」と訳されている。

環境、貧困等の様々な地球規模の課題を自らの課題として捉え、自分にできることを考え、身近なところから取り組むことにより、課題解決につながる価値観や行動を生み出し、持続可能な社会の創造を目指す学習や活動のこと。

○多様な情報発信

一般の方や地域からの意見要望を把握し、業務遂行の参考とします。各種森林ふれあいイベントの開催を通じて、森林・林業の役割と意義、農山村の現状について理解を深めていただき、**豊かな森林資源を次世代に引き継いで行く**ことを目指します。



水都おおさか森林の市
令和元年は10月27日に開催します

○伝統文化の継承への貢献、大学・試験研究機関との連携の強化

京都・奈良等の世界文化遺産に隣接する国有林において、地元自治体や一般市民、民間企業等とともに**景観に配慮した森林づくり**を進めます。日本の伝統と文化の継承に貢献するため、**社寺等の歴史的木造建造物の修復用資材を供給**する「古事の森」や「檜皮採取林」を設定しています。

大学、試験研究機関と「連携と協力に関する協定」を締結し、各機関が有する専門的かつ高度な知識・技術と、国有林が有するフィールド、資源、組織力を相互に活用することで、**森林・林業の発展や地域の課題解決**に向けた取組を推進します。



檜皮の採取

森林のギャラリー（局庁舎1階）

～治山事業を語る展～

・展示期間：5月20日（月）～6月13日（木）

・展示内容

- ① 日本の森林荒廃の歴史と治山技術発展の歴史（六甲山の緑化の歴史など）
- ② 明治期の治山事業の事例（外国人指導者による治山対策の発展など）
- ③ 近畿中国局管内で発生した災害の復旧状況と最新の復旧技術の紹介（平成23年9月の紀伊半島大水害の復旧対策など）
- ④ 後世に伝えるべき治山（泉南地域のはげ山復旧など）
- ⑤ 明治期からの森林政策のあゆみ等（年表など）

～森林からはじまる村づくり～

・展示期間：5月15日（水）～6月13日（木）

・展示内容（岡山県西栗倉村の特別展示）

- ① 百年の森林構想や残材やオガクズ等の木質バイオマスへの利用にかかるパネル展示
- ② 西栗倉村で起業された方々の紹介
- ③ 楽器や木製品の展示

安全・安心な暮らしを実現する**治山事業**

令和元年度特別企画展

治山事業を語る展

～我が国の礎を築いた「治山事業」の歴史を振り返る～

【期間】：5月20日～6月13日
 森林のギャラリー開館時間：平日9時～17時

近年は豪雨等による山地災害が多発しており、治山事業は私たちの暮らしに必要不可欠なものとなってきました。今回の展示では、管内で発生した山地災害の復旧に係る最新技術の紹介や普段目にする機会が少ない「治山事業」にスポットを当てた展示を行っています。

林野庁 近畿中国森林管理局
 森林のギャラリー

ギャラリーへのアクセス
 15分～20分 徒歩

我が署のスタッフ

石川森林管理署

やはなしななみ

矢放七海

（平成30年度採用）

私は一年前に入庁し、石川森林管理署に配属されました。現在は森林経営・ふれあい担当で、森林の調査、森林教室実施の準備などを行っています。

山に行く機会もありますが、事務仕事も多く一年たった今も、公文書の取扱いや文章について頭を抱える毎日です。しかし優しく面白い先輩方に教えていただきながら頑張っていけるのは本当に幸せだと感じています。

ふれあい業務では、どうすれば森林・林業について興味を持ってもらえるか、国有林を地域の皆様に親しんでいただけるか、日々考えながら取り組んでいます。

以前行った森林教室では、自分の特技のイラストも使用して、より楽しくわかりやすい資料になるよう工夫しました。アンケートでは森林の大切さがよくわかったという声をたくさんいただき、森林・林業に関心を持つきっかけになれたかなとうれしく思いました。

まだわからないこともたくさんありますが、これから様々な業務を経験して知識を積み、地域の方に国有林を活用して身近に感じてもらえる一助になっていけたらと思います。



森林教室の様子

シリーズ 『国有林 最前線!』

森林整備部 技術普及課

～森林（もり）のギャラリー展示～

近畿中国森林管理局では、庁舎1階の「森林（もり）のギャラリー」において、森林や木材、農業などに関わる地域のお宝情報や歴史的な価値のある写真・資料の展示、物産品の展示・販売を行い、広く国民の皆様に森や木の温もりを感じていただく場を提供しています。

平日の9時から17時まで開館しており、入場は無料となっておりますので、お気軽にお立ち寄り下さい。

今後の展示内容や詳しい詳細は随時ホームページ（<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>）に掲載しております。

◆当面の予定（5～6月）

展示期間	展示タイトル	展示の概要	協力団体
5月15日 ～ 6月13日	岡山県西粟倉村の森林からはじまる村づくり	森林や木材の魅力を効果的にPRされている「岡山県西粟倉村」の取組紹介	西粟倉村（岡山県）
5月20日 ～ 6月13日	明治期の治山事業について	「治山事業」の歩み 明治期の「はげ山」復旧技術等の紹介	—
6月3日 ～ 6月28日	ムシしちゃだめよ、この虫たち	サクラなどを枯らす「クビアカツヤカミキリ」や樹木害虫の生態や被害対策の紹介	（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所 関西支所



広島北部森林管理署 新市森林事務所 森林官 鶴田雅拓

新市森林事務所は、「中国山地のどまんなか」広島県の最北端に位置する庄原市高野町に所在し、旧高野町と旧比和町の国有林野4団地3,290haと官行造林地2団地243haを管理しています。

当事務所の所在する高野町は、標高約500m～1,200mに及ぶ高原地帯で、年平均気温は約11℃と夏は冷涼で過ごしやすく、朝夕の気温差が大きい山間高冷地特有の気候を活かした、りんご栽培が盛んで「高野りんご」の産地として有名です。

一方冬期となると、西日本で最も気候が寒冷な地域のひとつであり、豪雪地帯に指定され、時には積雪量が100cmを超えることもあります。

そんな高野町も昨シーズンは暖冬で雪も少なく、例年ならば厄介者扱いされる雪も無ければ寂しいものです。

島根県境に位置する俵原山国有林では、センダン（早生樹）の植栽試験地を設定しています。再生利用が困難な荒廃農地を森林として活用する方策として、荒廃農地を想定した採草放牧跡地に、早期に成林が見込めるセンダンを植栽し、気候等の影響による初期生長の特性と、保育作業等造林技術の解明に取り組んでいます。加えてセンダンは、20年余りの短伐期で収入に結びつけられる可能性があり期待されています。厳しい自然環境のなか、雪や寒さに負けず育ててほしいと願うばかりです。



センダン試験地（俵原山国有林）